

《多摩市初公演》神田さち子ひとり芝居  
帰ってきたおばあさん

開場 12:30 / 上演 13:00~14:30  
定員300人(先着順) 入場無料

新しい生活を目指して満州(中国東北部)開拓団に加わり、大陸に渡った女性が、終戦の混乱の中、中国に置き去りにされ、言葉に尽くせぬ辛酸をなめながら、懸命に生き抜いてきた実話を、渾身の演技で描くひとり芝居。20余年にわたり全国津々浦々で公演し、あの時代を生きた人々をはじめ、戦争を知らない若い世代にも戦争の惨さ(むごさ)を伝えています。



「戦争は弱いもんが、犠牲になるとです」

主演 = 神田さち子  
原作 = 良永勢伊子  
演出・上演台本 = 杉山義法

シンポジウム  
「反差別」平和への第一歩

開場 16:30 / 開演 17:00~19:30  
定員300人(先着順) 入場無料

ナチス・ドイツによるホロコーストのように、戦争や武力紛争、大量虐殺の背景にはさまざまな差別が存在してきました。それは他者を「劣っていて、死んでもやむを得ない」存在とする思想が背景にあります。現代日本でも、いわゆるヘイトスピーチ(憎悪表現)や障がい者をターゲットにしたヘイトクライム(憎悪犯罪)などが起きており、とくにインターネットを通じて差別感情がうまれ続けています。

こうした問題に取り組んできたパネリストとともに日本における差別の現状とその背景を考え、共生と平和な世界の実現のために何が必要なのかを共有していきましょう。

.....【パネリストの皆さん】 ※手話通訳・要約筆記あり .....



いけがみ ひろみち  
池上 洋通 さん

地方自治研究者。1941年静岡生まれ。日野市役所勤務を経て、自治体問題研究所事務局長・常務理事のあと、多摩住民自治研究所理事長を務める。現在は多摩住民自治研究所研究室長。



いづつ かずゆき  
井筒 和幸 さん

映画監督。1952年奈良県生まれ。上京し、1981年「ガキ帝国」で日本映画監督協会新人奨励賞を受賞。「パッチギ！」(2004年)では、2005年度ブルーリボン最優秀作品賞他、多数の映画賞を総なめするなど、様々な社会派エンターテインメント作品を作り続けている。様々な分野での「御意見番」として、テレビ、ラジオのコメンテーターなどでも活躍している。



かやま  
香山 リカ さん

精神科医・立教大学現代心理学部教授。1960年北海道生まれ。東京医科大学卒業。豊富な臨床経験を活かして、現代人の心の問題を中心にさまざまなメディアで発言を続けている。専門は精神病理学。NHK ラジオ第一「香山リカのココロの美容液」(金曜・夜9:30より)でパーソナリティをつとめる。



<コーディネーター>  
うえむら ひであき  
上村 英明 さん

恵泉女学園大学人間社会学部教授。1956年熊本市生まれ。1982年市民外交センターを設立し、草の根NGOとして、2002年に日本で最初の国連NGOの資格を取る。日本における先住民族問題の第一人者として知られる。専門分野としては先住民族問題、国際人権法、平和学、植民地論、NGO論など。著書に『新・先住民族の近代史』(法律文化社、2015年)など。



ビデオメッセージでの  
ご出演  
シン スヨ  
辛 淑玉 さん

のりこえねっと共同代表。1959年東京生まれ。在日三世。人材育成コンサルタントとしてはたらくかわら、テレビ出演、執筆、講演も多数こなす。2013年、共に生きる社会を目指して、マイノリティの歴史や世界からの情報を届けることを目的に、23人の共同代表でのりこえねっとを立ち上げる。著書に、『怒りの方法』『悪あがきのすすめ』(ともに岩波新書)など多数。

第26回多摩市平和展  
— すべてのいのちに平和な地球を —

入場無料  
パルテノン多摩

2017年7月27日(木) - 8月2日(水) 10:00 ~ 18:00 (会期中は無休)

キース・ヘリングと子どもたちが描いた壁画「平和」「ぼくの街」



© Keith Haring Foundation

1987年10月撮影

1987年にパルテノン多摩開館記念企画で、1980年代の米ポップアートを代表するキース・ヘリングが多摩市の子どもたち(幼児・小学生総勢462名)と一緒に絵筆を握った壁画の展示。当時子どもたちはどんな想いで絵を描き、今どんな想いを次世代につなげたいと思っているのだろうか。あらためて壁画と向き合い、キース・ヘリングが願った“平和の実現”を、そしてアートという観点で平和を考えてみませんか。 [パルテノン多摩所蔵]

ギャラリートーク 7月30日(日) 15:15 ~ 16:15

梁瀬 薫 さん(中村キース・ヘリング美術館顧問 / NY在住)

美術ジャーナリストの梁瀬薫さんは「キースにとってアートとは特別なものではなく、人と人をつなぐコミュニケーションの手段だった。大量に制作したのは、できるだけ多くの人に見せたかったから」と話します。キース・ヘリング財団と日本との架け橋を担っている氏ならではの話を伺います。

こどもワークショップ 7月22日(土) 13:00 ~ 15:00

— みんなで大きな平和の絵を描こう —  
パルテノン多摩 アトリエ室(4階)  
講師: 神谷 早重子 さん(絵画教室講師)

子どもたちが絵を描くことで「平和って何だろう?」と考えてもらい、平和の大切さを実感してもらうワークショップです。描いた絵は平和展会期中会場内に展示します。

・小学生対象(35名先着順) [申し込み・問合せ: 平和・人権課]

特別展示室

高校生から平和へのメッセージ  
～ 沖縄への修学旅行から～

東京都立永山高校の2年生(現3年生)が今年2月、修学旅行で沖縄へ行き、美しい自然、ひめゆりの塔、平和祈念資料館、ガマなどを訪ねて平和と戦争の狭間を目の当たりにしてきました。沖縄を通して感じた平和への思いを綴ってもらいました。併せて見学写真もパネル展示します。



沖縄陸軍病院の塔を見学する生徒たち

ヒロシマ・ナガサキ原爆と人間

パネル展示 31枚

被爆後72年経過の今でもその後遺症の病魔と闘い、亡くなって行く人が大勢います。「平和は力なり」と吹聴しながら、国連での核廃絶禁止条約も大国のおごりで締結が遠のいていく感じがします。この恐ろしい原水爆を再び使わせてはなりません。

原爆体験伝承者による被爆証言

- ・7月27日(木) 14:00~14:40  
広島伝承者 あんざい ようこ 安齋 陽子さん
- ・8月2日(水) 14:00~14:40  
長崎伝承者 えのもと ひとみ 榎本 瞳さん

※くにたち原爆体験伝承者育成プロジェクト  
被爆の実相と平和への思いなどを受け継ぎ、幅広く伝えるために、一人でも多くの方に被爆者の体験・思いを語り継ぐ活動をしています。

若い人たちへの伝言 ～ 語り継ぐ戦争体験～

14:00~15:00

戦争を体験された人は、思想や立場を超えて「戦争だけはしてはいけない」と語ります。しかし、戦争の実相や今の平和がどのような犠牲の上に築かれたものかを後の世代は実感しているでしょうか。今年も5人の方々が戦争体験を語り継がねばと呼びかけに応えてくれました。ひとりでも多くの方に耳を傾けてほしいと願っています。

- 7月28日(金) .....「墨ぬり教科書世代に生まれて」 いししい りゅうのすけ 石井 隆之介さん
- 7月29日(土) .....「姉の被爆を見守って」 しもだ 下田 ミヨ子さん・たけうち りょうこ 竹内 繭子さん
- 7月30日(日) .....「北朝鮮からの引揚げ」 まつもと ゆたか 松本 胖さん
- 7月31日(月) .....「学童疎開は縁故疎開を原則とする」 しばさき みちよ 柴崎 享代さん
- 8月1日(火) .....「今でも歌える楠木正成のうた」 こが よしこ 古賀 禧子さん  
— 私が受けた軍国主義教育の教科書から —

千羽鶴作成  
コーナー

8月5日(土)～8月7日(月)に市が広島に派遣する小・中学生が平和記念公園の「原爆の子の像」に千羽鶴を献納します。ぜひ、折鶴作成にご参加ください。

近現代年表

歴史年表を展示します。展示物の時代背景を探る資料としてください。

ビデオコーナー

多摩市で所蔵する戦争体験やアニメなどのDVDを常時上映します。

図書コーナー

多摩市立図書館所蔵の平和関連図書のコーナーです。(閲覧自由)

多摩火工廠とその後の変遷

多摩市と稲城市にまたがって旧日本陸軍の火薬工場がありました。今でも作業場や倉庫、トンネルなど当時の貴重な建築物遺跡や、古くからの多摩丘陵の生態系が残っています。現在は米軍施設であり、私たち地元住民はその内部を自由に見られないため、昨年秋に施設外の周辺ツアーを開催、その様子もご紹介します。



周辺ツアー、どかん池での解説の様子

第1会議室 7月29日(土)

上映と解説  
昭和と戦争 語り継ぐ7000日

10:00 ~ 12:00

定員100人(先着順) 入場無料

今回は第4巻「立ち上がれ小国民～欲しがりません勝つまでは～」です。1941年(昭和16年)12月8日の太平洋戦争開戦から1942年(昭和17年)のミッドウェー海戦での敗北を経て1943年(昭和18年)のアッツ島守備隊の全滅、山本五十六大将の戦死にいたる3年間の戦況の悪化と国民生活の窮乏化とについて、今年も「昭和の戦争」研究の第一人者である山田朗先生に詳しく解説をしていただきます。

解説: やまだ あきら 山田 朗 さん(明治大学文学部教授、明治大学平和教育登戸研究所資料館館長)



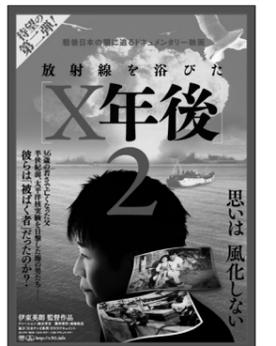
映画上映  
X年後 2

1回目 開場 13:30 / 上映 14:00 2回目 開場 15:45 / 上映 16:00

定員100人(先着順) 入場無料

1954年米国の核実験による第五福竜丸の被爆は強く記憶されています。しかし、この時被爆したのは第五福竜丸だけではありません。その後、他の船について民間人による地道な調査が進められてきました。この映画には偶然見つかった船員手帳を手がかりに父の足跡を捜す女性が描かれています。彼女は、2015年に厚生省に個人情報開示を要求しました。果たして開示された文書にあった記録とは…?

(ドキュメンタリー/上映時間 90分)



子ども被爆地派遣(広島)報告会 8月27日(日) 14:00 ~ 永山公民館ベルブホール

市内在住の小・中学生8人が広島を訪問し、平和祈念式典への参加や被爆体験者のお話を聴くなど平和の尊さを学び成果を発表します。都立永山高校生による平和へのメッセージや多摩市在住のシンガーソングライターのカツルミさんの平和をテーマにした歌もあります。子どもたちと一緒に平和について考えてみませんか?